

2026特別シーズン版\_SPL指標

カテゴリー	ポリシーとコミットメント、レポーティング	再生可能エネルギー	エネルギー効率	環境負荷の少ない移動手段	使い捨てプラスチック削減・廃止	ゴミの削減管理	水の効率的な利用	プラントベース／低炭素食品	生物多様性	教育	コミュニケーションとエンゲージメント	持続可能な調達	
ポイント基準（MAX33ポイント）	ポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント+0.5〜1ボーナスポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント+0.5〜1ボーナスポイント	2ポイント+1ボーナスポイント	2ポイント	2ポイント	2ポイント	
	2ポイント	環境を含むサステナビリティへの取り組みに関する、長期的かつ包括的な方針／戦略を公表しており、かつUN Sports for Climate Action Frameworkに署名している、または独自のネットゼロ目標を設定している場合。  さらに、Scope1,2,3の排出量について、完全な内訳とともに公式かつ透明な形でクラブ公式HP上で報告している場合。	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、使用しているエネルギーの100%が再生可能エネルギーでまかなわれている場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする ※再生可能エネルギーは、電力会社からの供給、または電力会社と自家発電の組み合わせによるものを含む	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、体系的なエネルギー効率計画を実施している場合、この計画には、例としてビル・エネルギー・マネジメントシステム（BEMS）、CASBEE認証、省エネ法、ISO50001などの要素が含まれます。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	環境負荷の少ない移動に関する方針／戦略を策定し、そのポリシーがスタッフ、選手、ファン・サポーターにも浸透している場合。  さらに、ファン・サポーターやスタッフが環境負荷の少ない交通手段を利用することを目に見える形で促進し、それを支援するためのインセンティブを提供していること。 例えば、公共交通機関の利用割引、徒歩来場キャンペーン、自転車通勤制度、相乗りの推奨などが挙げられます。	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、使い捨てプラスチックを完全に排除している場合、または、来場者エリアからスタッフ専用エリア、キッチンなどの業務用スペースに至るまでのエリア全体を対象にした使い捨てプラスチックの削減・廃止に向けた方針／戦略があり、体系的かつ広範囲な取り組みを行っている場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	廃棄物管理／リサイクルプログラムを導入しており、クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、総廃棄物量に対する焼却処理の割合（焼却率）が50%以下であり、残りの廃棄物はリサイクルまたはサーキュエコノミーの特組み内で処理されている場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、水の節約・再利用に関する方針／戦略を有しており、実際に水使用量の削減および再利用が進んでいる場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	すべての試合でスタジアムグルメエリア、ホスピタリティエリア、クラブハウスにおいてスタッフと選手に持続可能な方法で調達されたプラントベース／低炭素食品のフードオプションを提供している場合。	生物多様性に関する方針／戦略を有しており、それがクラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）へ行き渡り、制限、削減、回復、保全などを通じて自然と地域の生態系を支援するものである場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	1ポイントのすべての基準を満たしており、クラブが過去6ヶ月間にすべての選手(男女トップチーム、男女アカデミー、スクール生)に対し、環境の持続可能性/気候変動に関する教育プログラムまたはトレーニングを実施している場合。 ※女子チームを有していない場合、女子トップチーム、及び女子アカデミーは不要 ※新しく加入した選手含む	サステナビリティに関する方針／戦略、および活動を紹介するページが、クラブ公式HP上の主要メニュー／トップメニューとしてあり、クラブがそれを一貫して示すことができ、かつ、ファン・サポーターに対して、自身の生活の中で環境負荷を減らすような前向きな行動を促すことを、継続的かつ積極的に行っている場合。	クラブが扱うすべての物品（MDのみでなく、サッカーボールや飲食物など、クラブが購入するすべてのモノ）について持続可能な調達方針／戦略を定めている場合。環境、倫理(人権・労働権、公正・生活賃金)、社会的責任(多様性、トレーサビリティ)を含む。
	1ポイント	環境を含むサステナビリティへの取り組みに関する、長期的かつ包括的な方針／戦略を公表しており、かつUN Sports for Climate Action Frameworkに署名している、または独自のネットゼロ目標を設定している場合。	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、使用しているエネルギーの40%以上100%未満が再生可能エネルギーでまかなわれている場合。 または、行政・地方自治体、NPO法人や公共団体と連携し、地域の自然資源を活用した、再生可能エネルギーの促進・開発支援等の社会システムの変革に寄与するプロジェクトを公式に開始・推進している場合（公式発表まで含む） ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、複数のエネルギー効率化の取り組みが行われている場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	ファン・サポーターやスタッフに対し、公共交通機関の利用割引、徒歩来場キャンペーン、自転車通勤制度、相乗りの推奨など、環境負荷の少ない移動を目に見える形で促進しているが、環境負荷の少ない移動に関する方針／戦略が策定されていない場合。	クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）において、使い捨てプラスチックの削減・廃止に向けた方針／戦略があり、体系的な取り組みを行っている場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	廃棄物管理／リサイクルプログラムが導入されているものの、クラブが関連するすべての施設（スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所、練習場、公式ショップなど）で実施されていない場合、または焼却率が50%以下に達していない場合。 もしくは、焼却率が50%以下は達成しているが、廃棄物管理／リサイクルプログラムが導入されていない場合。 ※対象施設として、スタジアム、クラブハウス、クラブ事務所は最低限含まれるものとする	節水・再利用の取り組みが1、2エリアに限定されておりクラブ全体で実施されていない場合、または、方針／戦略はあるが取り組みが開始されていない場合。	持続可能な方法で調達されたプラントベース／低炭素食品を進べるオプションがあるが、スタジアムグルメエリア、ホスピタリティエリア、クラブハウスといったすべてのクラブ施設で利用可能ではない場合。	自然や地域の生態系を支援するために積極的な取り組みを行っているが、適切な方針／戦略を定めていない場合。	過去6ヶ月間に、環境の持続可能性/気候変動に関する教育プログラムまたはトレーニングを、スタッフ、ファン・サポーター、一部の選手に対して実施している場合。	サステナビリティに関する方針／戦略、且つ活動が、クラブ公式HP上のいずれかのページに掲載されている場合。	クラブが扱うすべての物品の持続可能な調達方針／戦略を定めており、上記2ポイントのすべての要素ではなく一部を含んでいる場合、但し、最低でも環境をカバーしている必要あり。
	0.5ポイント	排出削減目標に関する外部コメント(独自のネットゼロ目標等)を行っているものの、それに向けた方針／戦略をまだ策定していない場合、または、クラブとして環境を含むサステナビリティに関する方針／戦略は有しているが、排出削減目標に関する外部コメント(独自のネットゼロ目標等)を行っていない場合。	再生可能エネルギー源から供給されたエネルギーを一部使用しているが、その割合が全体の40%未満である場合。	エネルギー効率化の取り組みが単一の場合（例：LED照明の導入など）。	－	個別製品を中心とした場合当たりの廃プラスチック対策のみを実施している場合。	リサイクルを行っているが、廃棄物管理／リサイクルプログラムが導入されていない場合。	－	スタジアムでファン・サポーターのために持続可能な方法で調達された食品が提供されている場合、またはすべての食品が持続可能な方法で調達されている場合。	クラブが過去6ヶ月間に自然や地域の生態系を一時的に支援したが、現在または継続的な活動を行っていない場合。	環境の持続可能性/気候変動に関する教育プログラムまたはトレーニングを、上記ステークホルダーの一つの対象以上に過去に実施している場合。	過去3ヶ月間に、環境の持続可能性に関する話題でファンと積極的に交流したり、環境を含むサステナビリティに関するクラブニュースやキャンペーンをクラブの公式HP上に掲載した場合。	過去6ヶ月間に調達した物品およびサービスの環境への影響を低減するための措置を講じているが、完全な調達方針／戦略を実施していない場合。
	0ポイント	環境含むサステナビリティへの取り組みを示す方針／戦略がなく、排出削減目標に関する外部コメントを行っていない場合。	クラブが再生可能エネルギー源からのエネルギーを使用していない場合。	エネルギー効率化の取り組みを行っていない場合。	ファン・サポーターやスタッフに対し、環境負荷の少ない移動を目に見える形で促進できていない場合	使い捨てプラスチックの削減・廃止に向けた取り組みが実施できていない場合。	廃棄物管理／リサイクルプログラムを有していない場合、または廃棄物のリサイクルや焼却率を低める取り組みを実施できていない場合。	水の節約や再利用が実施できていない場合。	食品が持続可能な方法で調達されておらず、どのクラブ施設でもプラントベース／低炭素食品のオプションが提供できていない場合。	生物多様性の促進や自然保護に関する活動を行っていない場合。	クラブが上記のステークホルダーに対して環境の持続可能性/気候変動に関する教育プログラムまたはトレーニングを提供していない場合。	クラブのサウンドメディアにて、クラブのニュース記事、または6ヶ月以上前の記事を通じて、環境を含むサステナビリティについて積極的にコミュニケーションを行っていない場合。	持続可能な調達方針／戦略を策定していない場合、または物品、サービス、商品の環境への影響を低減するための措置を講じていない場合。
	0.5〜1ポイント	1ボーナスポイント – 上記2ポイントの内容に加えて、クラブが国際的に認められた持続可能性マネジメントシステム(ISO20121など)の認証を取得している場合。	1or0.5ボーナスポイント – クラブが再生可能エネルギーの導入促進に向けて、以下2つのうち過去6か月以内に1つのみ実施している場合は0.5ポイント、両方実施している場合は1ポイント。  1.再生可能エネルギー設備を導入し、自家利用または売電を行っている場合。 ※「再生可能エネルギー設備」には太陽光、風力、地熱、バイオマス、小水力発電などが含まれます  2.クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、家庭での再生可能エネルギーへの移行を促進する啓発活動を2回以上実施している場合	1ボーナスポイント – クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、家庭でのエネルギー効率の向上を促進した場合。（過去6ヶ月間に2回以上の交流があったことを示す必要あり）	1ボーナスポイント – 試合会場への来場、に使用されたさまざまな交通手段ごとのファンの利用割合を追跡・記録し、その結果を公表している場合(結果は過去6ヶ月間以内の内容であること)	1ボーナスポイント – クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、普段の生活において使い捨てプラスチックの使用を減らすことを促進した場合。（過去6か月間に2回以上交流があったことを示す必要あり）	1ボーナスポイント – クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、普段の生活においてリデュース、リユース、リサイクルに関する行動を促進した場合。（過去6か月間に2回以上の交流があったことを示す必要あり）	1ボーナスポイント – クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、水の使用量の削減、節水するよう促している場合。（過去6か月間に2回以上の交流があったことを示す必要あり）	1or0.5ボーナスポイント – クラブが持続可能な方法での食品の調達、およびプラントベース／低炭素食品を選択することをファン・サポーターへ促す取組みとして、以下の2つの項目のうち過去6か月以内に1つのみ実施している場合は0.5ポイント、両方実施している場合は1ポイント。  1.クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、持続可能な方法で食品を調達することを促進する取り組みを2回以上実施している場合  2.クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、プラントベース／低炭素食品の選択・消費を促進する取り組みを2回以上実施している場合	1ボーナスポイント – クラブ公式HP、SNS、スタジアムや試合プログラムなどを通じて、ファン・サポーターと直接かつ積極的に交流し、自然保護／生物多様性の重要性を伝えている場合。（過去6ヶ月間に2回以上の交流があったことを示す必要あり）	－	－	